

ぶんかざいまるちなび

文化財知ナビ

No.31

このニュースレターは、「文化財に親しむ機会の提供に関する事業」の一つとして、身近な文化財情報をはじめ、文化財を活用した事業などの紹介を行っています。ぜひ学校教育や生涯学習の場で広くご活用ください。

アイヌ民俗技術・民俗芸能伝承講座発表展示会

へいせい ねん がつ にち にち
平成29年2月26日(日) 14:30~16:00

イランカラブテ(アイヌ語で「こんにちは」を意味する)

北海道教育委員会では、アイヌの伝統や文化を後世に伝えていくため、北海道アイヌ協会に委託し「アイヌ民俗文化財伝承・活用事業」を行っています。

今年度は、道内6つの会場で実施しており、平成29年2月26日(日)に苫小牧市民会館において、アイヌ民俗技術伝承講座受講者の方々が制作された工芸品の展示と、アイヌ民俗芸能伝承講座で学ばれた芸能の成果を発表します。

展示は、苫小牧・白老・浦河・帯広・釧路会場で制作された作品が、芸能の成果発表は、苫小牧・むかわ・白老・帯広会場の方々がアイヌ古式舞踊を披露します。

北海道の風土に根ざし育まれたアイヌの伝統文化をぜひこの機会にご覧ください。皆様のお越しをお待ちしております。

日時 平成29年2月26日(日)
14:30~16:00
場所 苫小牧市民会館 小ホール
(苫小牧市旭町3丁目2番2号)
入場無料

内容

- 作品展示 14:30~16:00
技術講座で制作された工芸品の展示
- 芸能発表 15:00~16:00
芸能講座で学んだ古式舞踊の成果発表
- 体験ブース 14:30~15:00
ムックリ演奏体験・アイヌ文様切り絵等

アイヌ
民俗技術・民俗芸能伝承講座
発表・展示会 2017
入場無料
平成29年2月26日
苫小牧市民会館 小ホール
(苫小牧市旭町3丁目2番2号)

タイムスケジュール	
14:30	開場/作品展示
15:00	芸能発表①(苫小牧会場)
15:10	芸能発表②(むかわ会場)
15:25	芸能発表③(白老会場)
15:35	芸能発表④(帯広会場)
16:00	終了

問い合わせ先：公益社団法人北海道アイヌ協会 TEL 011-221-0462

重要有形民俗文化財「アイヌの生活用具コレクション」

このコレクションは、民俗学者馬場 脩氏が昭和10年（1935年）から収集したもので、北海道内の各地のものもあるが、今は入手困難な樺太アイヌ、千島アイヌの民俗資料が主体で、世界的に注目されています。

総数758点にのぼるこのコレクションは、それぞれ制作地がわかり、中には制作年代や作者のデータのあるものもあり、文化の地域的、年代的な比較研究をするうえで貴重なものです。

コレクションの大半を占めるイクパスイ（捧酒箸）は、元来アイヌの重要な祭器であり、ほかに喫煙具や服飾品等が含まれており、わが国はもとより世界的にも有数の資料です。

このコレクションは函館市北方民族資料館で見ることができます。



ほうしゅばし
イクパスイ（捧酒箸）

重要無形民俗文化財「アイヌ古式舞踊」

アイヌ古式舞踊は、アイヌの人々によって伝承されている芸能で、祭祀の祝宴、家庭の行事での祝宴等様々な行事に際して踊られ、アイヌ独自の信仰に根ざしている歌舞で、その様式には古い形態をとどめているものが数多くあります。

特に、信仰と芸能と生活が密接に結びついているところに特色があり、芸能史的な価値が高いものです。

舞踊の種類は、祭りのための酒を醸す時に歌われる「杵搗きの歌」や「ざるこしの歌」に合わせて踊る作業歌舞のようなものから、祭祀的性格の強い「剣の舞」や「弓の舞」のような儀式舞踊、「鶴の舞」や「バッタの舞」のような模擬舞踊、「棒踊り」、「盆とり踊り」、「馬追い踊り」などの娯楽舞踊、さらには「色男の舞」のような即興性を加味した舞踊があります。

このような多種多様な曲目もそれぞれのコタンによって伝承曲目や舞い方が異なりますが、いずれも歌（ウポポ）を中心とし、踊りは輪舞（リムセ）を基本として構成されています。

信仰あるいは生活の中から生まれた舞踊性を今でも色濃く伝えており、舞踊の発生を考える上でも貴重なものと考えられます。



アイヌ古式舞踊（鶴の舞）